

各 位

平成 14 年 4 月 11 日

本店所在地 東京都港区西新橋一丁目10番2号
会社名 ソフトバンク・インベストメント株式会社
(コード番号8473 東証第一部、ナスダック・ジャパン)
代表者 代表取締役社長 北尾 吉孝
問い合わせ先 責任者 役職名 取締役管理本部長
小林 寿之
電話番号 03-5501-2711 (代表)

韓国におけるインタースター・テクノロジー社の経営権取得と 今後の事業展開について

ソフトバンク・ファイナンス(以下 SBF)グループの投資事業を統括するソフトバンク・インベストメント株式会社(所在地:東京都港区、代表者:北尾 吉孝、以下当社)は、このたび韓国における投資事業の拠点として SBI Korea Holdings(以下 SBIKH)を設立し、同社の 100%子会社となる SBI Korea において KOSDAQ 市場に上場する半導体検査装置メーカーであるインタースター・テクノロジー社(Code:51780、以下 IST 社)の大株主 2 名より、総発行株式 397 万株の約 25.2%に該当する 100 万株を取得し、その経営権を取得する契約を締結しました。

これまで SBF グループでは、SOFTBANK FINANCE KOREA を韓国における事業活動の拠点として、主にインターネットを活用した金融事業を幅広く手がけてまいりましたが、このたびの SBIKH の設立を契機に韓国における投資事業をさらに拡充するとともに、IST 社をリアルビジネスの拠点として金融業以外の領域においても積極的に事業を展開してまいります。

IST 社は非常に高い技術、研究開発能力を持つとともに、健全な財務体質を保持しながらも半導体サイクルに収益が大きく左右される他、上場企業としての継続的成長の為には事業フィールドが狭すぎるという経営課題を抱えており、安定的収益構造の確立と国際化及び事業多角化のための施策を模索していました。

一方で当社グループは、(1)半導体景気が底入れに近づいており、今後回復期にあること、(2)IST 社の技術力をソフトバンクグループのグローバル・ネットワークを利用して海外の有力企業と連結させられること、(3)ソフトバンクグループの投資先や投資検討先に IST 社の新規事業拡大に連結できる候補企業が数多くあること等の理由から IST 社の行う既存事業、及び新規事業展開にソフトバンクグループが寄与できる部分が多分にあり、IST 社の企業価値の増大に貢献できると判断し、両社の意向が合致したことから、このたび

の経営権移転の契約が締結されることとなりました。

IST 社では、既に 3 月 27 日開催の株主総会・取締役会において SOFTBANK FINANCE KOREA 代表の高橋良巳が単独代表取締役に就任、同時に当社代表取締役の北尾吉孝が取締役に就任しており、当社を中心とした SBF グループからの全面支援体制の確立に着手しております。

今後 IST 社では、ソフトバンクグループのネットワークを最大限活用し、販売チャネルの国際化を図り既存の半導体製造装置事業による収益の極大化を目指すとともに、新たな収益基盤の確立を目的として、現在市場規模が急拡大している ID 機能付きカード市場への進出と半導体検査の最終段階を効率化するモジュールテスト事業、及び LCD 検査装置市場に参入する予定です。

その他、ソフトバンクグループが関係する韓国内の優秀な電子工学関連企業に出資を行うと共に、それらの企業の製品生産を代行し、売上の拡大と収益源の多角化を図ります。

当社では、IST 社の企業価値向上のために、資本戦略やバックオフィスのサポートも含めて同社の経営を全面的にサポートしていくとともに、今後も韓国における様々な企業のインキュベーション活動に注力してまいります。

なお本件による当社業績への影響は軽微なものであります。

(本プレスリリースに関するお問い合わせ先)

ソフトバンク・インベストメント株式会社 IR 室 03-5501-2711